



2013年5月21日  
高速労中日本

## 企業価値の向上に向けた取り組み

～『母と子の健康と命を守るホワイトリボン運動』（結果報告）～

高速労中日本では、企業価値の向上に向け、「環境保全」や「NGO等への支援・協力」の取り組みによって、社会に貢献することとしています。

具体の取り組みとして実施しています『母と子の健康と命を守るホワイトリボン運動』（社会・地域貢献を図るために、国際協力NGO（ジョイセフ）が実施）について、今回分の取り組み結果を、以下のとおり報告します。

### ■収集結果

【収集期間】	1月18日～1月28日（第1次中日本オルグ期間中）
【収集場所】	高速労中日本の全職場会
【収集数量】	<u>使用済み切手</u> <b>9,942枚</b>

収集された使用済み切手は、組合本部より、国際協力NGO（ジョイセフ）に郵送し、添付のとおり御礼状をいただきましたので併せて報告します。

今回も多くの皆さまにご協力いただきまして、ありがとうございました。

なお、使用済み切手については、今後  
も継続して収集をしますので、引き続き  
ご協力をお願いします。



〒460-0003  
名古屋市中区錦2-18-19  
三井住友銀行名古屋ビル8F  
中日本高速道路労働組合 御中



途上国の妊産婦と女性を守る

公益財団法人 ジョイセフ  
〒162-0843  
東京都新宿区市谷田町1-10 保健会館新館  
TEL 03-3268-5877  
FAX 03-3235-9774

平成 25 年 5 月 16 日

公益財団法人ジョイセフ  
支援事業グループ

### 収集アイテムご寄贈に対する御礼

寄贈品目： 使用済み日本切手

この度は、ジョイセフの収集ボランティア活動にご協力を賜り、誠にありがとうございます。皆様のご理解とご協力に心より御礼申し上げます。

お礼状のご送付が大幅に遅れ大変申し訳ございませんでした。

世界では、今なお妊娠や出産が原因で1日に800人の女性が尊い命を落としています。その99%が開発途上国の女性です。妊婦の栄養不足、出産時の不衛生な環境、保健医療サービスの欠如、道路や交通機関などのインフラの欠如、社会的因習などが原因で救われるべき命が亡くなっています。

これらの課題に対して、一人でも多くの女性が安心して妊娠・出産ができるようにするためには、妊娠前から産後までのケア、妊産婦や女性が自らの健康を守るための知識の普及の他に、自分の意思で出産の間隔を決めることができるよう女性の地位向上を目指した社会環境などの整備も必要となります。これらの取り組みは一朝一夕では成果を出すことができず、長期的な取り組みが求められます。

ご寄贈頂きました収集アイテムは換金後に、ジョイセフが開発途上国で推進する妊産婦と女性の命と健康を守る活動のための資金の一部として活用させていただきます。

引き続きのご支援を賜りますよう、謹んでお願い申し上げます。

以 上